

みんなの議会

令和2年度決算審査 02 一般質問 08

感染予防のため議会報告会は YouTube で配信します！ 20

令和3年
9月
定例会

長崎県長与町議会

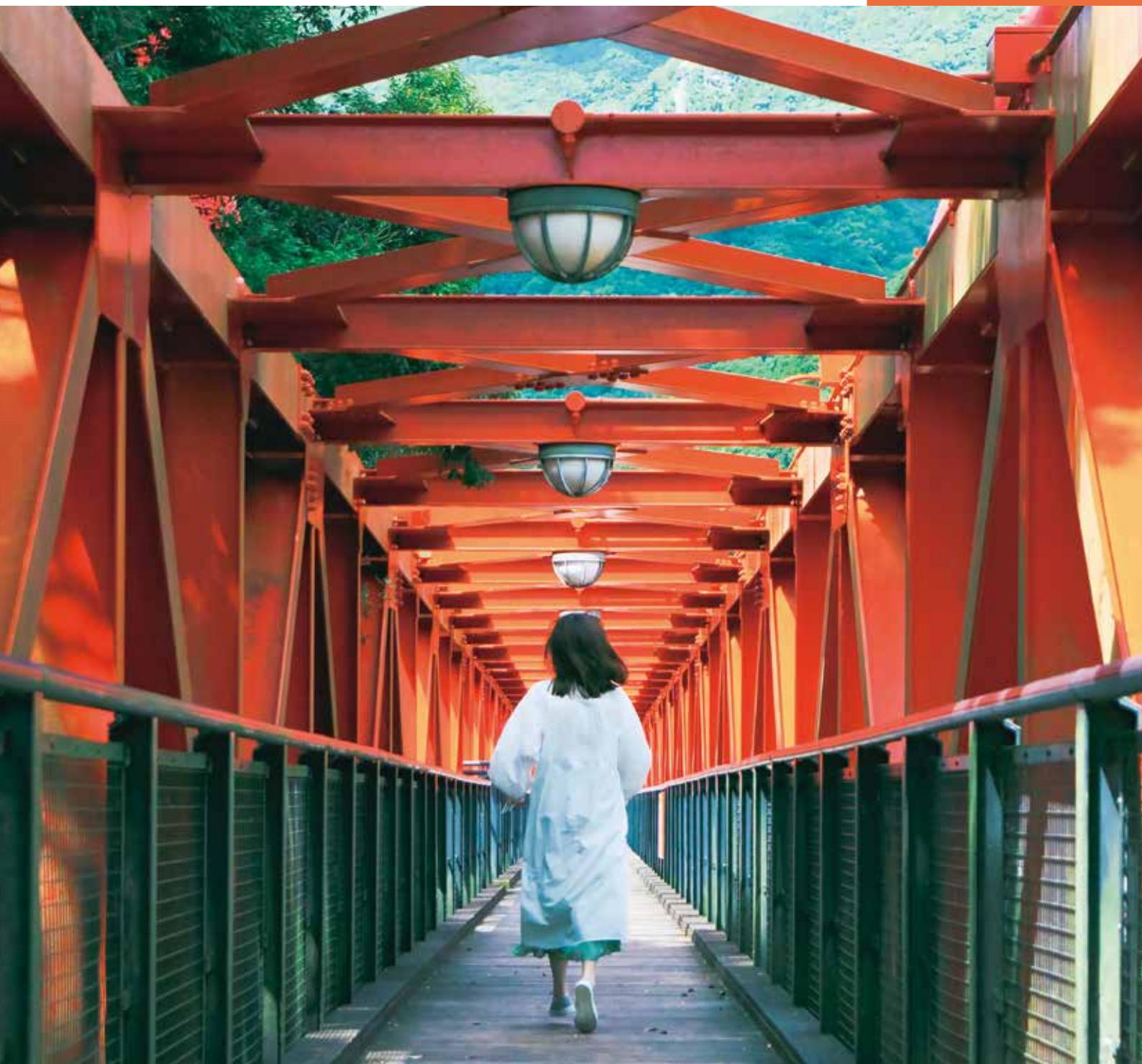


photo title: 紅葉色を歩く(吉無田郷 中尾城公園)

となつた決算を審査

認定
賛成12:反対2

歳入 191 億 8491 万円 歳出 181 億 2493 万円

注目事業ピックアップ

プレミアム商品券発行事業

2億3064万円



新型コロナ対策事業の一環として、町民の消費活性化と地元事業者の経営維持を図りました。

高田南土地区画整理事業

4億2209万円



長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計へ繰り出しを行いました。

小中学校にタブレットを配布

1億5831万円 (小学校)
9292万円 (中学校)



各小中学校の全児童生徒へ1人1台タブレットを配布し、利用できる通信環境を整備しました。

防災ハザードマップ作成

417万円



大規模な降雨による浸水想定区域に加え、土砂災害警戒区域や避難所などを明示した防災ハザードマップを作成しました。

新ホームページ制作

753万円



即時的な情報発信や閲覧環境に合わせた表示などの改善を行い、誰もが情報にアクセスできるように改良されました。

放課後児童クラブ コロナ対策事業

1239万円



放課後児童クラブに対し、小学校の臨時休校に伴う開所に要した経費および感染拡大防止に係る経費を助成しました。

歳入 191億8491万円

- ①国庫支出金 73億0387万円 (38.1%)
- ②町 税 46億5721万円 (24.3%)
- ③地方交付税 21億9594万円 (11.4%)
- ④県支出金 11億6668万円 (6.1%)
- ⑤町 債 11億3622万円 (5.9%)
- ⑥そ の 他 27億2500万円 (14.2%)

歳出 181億2493万円

- ①民 生 費 57億2706万円 (31.6%)
- ②総 務 費 55億5191万円 (30.6%)
- ③土 木 費 15億1902万円 (8.4%)
- ④教 育 費 14億8622万円 (8.2%)
- ⑤公 債 費 13億5575万円 (7.5%)
- ⑥衛 生 費 10億9986万円 (6.1%)
- ⑦そ の 他 13億8510万円 (7.6%)

※数字は端数を処理しています。

令和3年第3回定例会を9月7日から22日までの16日間の会期で開き、令和2年度一般会計決算・特別会計決算・令和3年度一般会計補正予算など、26議案について慎重に審議を行いました。

国保財政は県に移管され安定化

認定

賛成12:反対2

歳入
41億
1043万円

県支出金 29億 2374万円 71.1%

繰入金 2億 2982万円 5.6%
保険税 8億 4266万円 20.5%
その他 1億 1421万円 2.8%

歳出
40億
173万円

保険給付金 28億 3328万円 70.8%

基金積立金 9892万円 2.5%
県への納付金 9億 9301万円 24.8%
その他 7652万円 1.9%

令和2年度国民健康保険特別会計決算
国保世帯数 4883世帯 被保険者数 7971人

財政面の安定化が図られている
国保は平成30年度より県が加わり、財政面において安定化が図られている。すぐに財政を圧迫することはない。
(竹中)

賛成討論

保険税負担はすでに限界
国保の負担は依然として大きくなる。
(堤)

反対討論

A 国保財政が県に移管された際に、激変緩和措置により県への納付金が減額されており、3億円超の基金残高となっている。激変緩和措置は令和5年度で終了する。

Q 国保財政調整基金の見通しは。

A 高齢者の比率が増えていることが影響している。

Q 高額療養費の増額の原因は。

主な質疑

75歳以上は
5289人

認定

賛成12:反対2

介護認定者数は
1842人

全会一致
認定

令和2年度後期高齢者医療特別会計決算

歳入
5億4710万円
歳出
5億4616万円

歳入
30億1398万円
歳出
28億1035万円

広域連合との連携強化が必要
これからの中高齢者数の増加や医療の高度化を考えると保健事業と介護予防事業の一体化や健康ポイント事業への助成などの充実を図る必要がある。
(竹中)

賛成討論

制度の改善を求める
国民を年齢で区分けし、分断するこの制度の考え方は世代間で支え合う精神に反する制度である。
(堤)

反対討論

A 色々な介護予防事業が開催できない状況だったが、感染症予防や運動のリーフレット、脳トレの資料などを郵送することで、自宅での介護予防の取組を行つた。

Q 介護予防事業で、サロンなどの集まりに影響はなかつたか。

A 初めの頃は通所を控える人が多かつたが、ケアマネジャーが訪問型のサービスなどに切り替えるなどして対応した。

Q 新型コロナで介護サービスに影響はなかつたか。

主な質疑

認定

賛成12:反対2

高田南土地区画整理 計画年度どおりの完成を

令和2年度土地区画整理事業特別会計決算 岁入 9億9625万円 岁出 9億8935万円



工事が進む高田南土地区画整理事業

令和2年度末工事進捗率（工事ベース）

道路築造

57・4%

宅地造成

59・6%

主な質疑

Q 進捗状況が微増だが、令和6年度末には100%になるのか。

A 今は基盤整備中心で進捗が少ないが、6年度末には100%に近い形になると思う。

反対討論

町の財政を圧迫する事業

本事業の莫大な費用は、住民生活向上や生活環境整備に使われていたならば、真に幸福度が日本一と思える町に近づいたのではない

かと考える。
(河野)

賛成討論

補助金確保に一層の力を

一括施工の手法による令和6年度完成に向けて、国が予定されている補助金確保に一層の力を注ぐことを要望する。
(竹中)

全会一致
認定

令和2年度
水道事業会計決算

安全な水の供給と経営の維持

認定

賛成12:反対2

令和2年度
下水道事業会計決算

収益的収入	8億2635万円
収益的支出	6億5854万円
資本的収入	1億5296万円
資本的支出	2億6292万円

収益的収入	10億5115万円
収益的支出	9億4371万円
資本的収入	2億6888万円
資本的支出	4億6796万円

主な質疑

Q 営業利益が前年度決算より大きく増えた理由は何か。

A 令和元年度が極端に少なかつた事に加え、新型コロナの影響で家にいる時間が長くなり、水使用量が増えたものと考える。

主な質疑

Q 下水道事業の経営状況はどうか。

A 減価償却が多く、現金の支出がない経費なので営業利益では損失だが、経常収支も含め最終的には利益になっているので問題ない。

A

Q 資本的収入の支出での執行残の理由は何か。

A 高田踏切拡幅工事の一環で埋設工事を予定していたが、JRとの協議が整わず工事が行えなかった。

A

Q 建設改良費の執行残は入札によるものなのか。

A 入札減による執行残となっている。

用語解説

収益的収支…主に維持管理関係
(収益的収入…使用料、負担金等)

資本的収支…主に設備投資関係
(資本的収入…補助金、借入金
収益的支出…維持管理費、人件費)

資本的収支…主に設備投資関係
(資本的収入…補助金、借入金
資本的支出…事業費、償還金)

任期満了に伴う教育委員会委員任命の議案が提出され、全会一致で同意しました。

仁田千都子 氏（吉無田郷）

人権擁護委員

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための議案が提出され、全会一致で適任としました。

荒木 重臣 氏（高田郷）

A 空き家住宅等実態把握調査の期間と、その後の空家等対策計画の作成スケジュールは。

全会一致
承認

時短協力金を専決処分

令和3年度一般会計補正予算（第3号）
令和3年度一般会計補正予算（第4号）
令和3年度一般会計補正予算（第5号）

新型コロナ感染拡大防止のために県が発出した営業時間短縮要請に応じた町内の飲食店などへの協力金が、速やかな給付のために専決処分されました。要請期間の延長・再延長があつたため計3回で、事業総額の7282万8千円は全額が県からの補助金です。

全会一致
可決

空き家の実態調査など

令和3年度一般会計補正予算（第6号）

694万5千円を追加し、補正後の総額は146億3916万円となりました。

主な質疑

Q 空き家住宅等実態把握調査の期間と、その後の空家等対策計画の作成スケジュールは。

A 入札で業者を選定次第、調査を行い、その結果に基づき1月には計画を策定したい。

Q 緊急ショートステイ事業（※）補助は国の基準に基づくものか。また、何人分を想定しているか。

A 町独自の新型コロナ対策事業で、5人分を予算計上している。

※緊急ショートステイ事業

自分を介護する家族が新型コロナに感染し、自分も濃厚接触者と判断された要介護者のための一時的な短期入所介護や訪問介護。

賛成討論

国・県の水産業発展が阻害されれば本町住民にも影響があり得る。改善を求めるに賛成する。（浦川）

漁業関連に従事する本町住民の公益に資する。中国の不当な態度を変えるために力を尽くすべき。（堤）

今止めなければ中国の不当な領有権主張が拡大する可能性がある。本町の経済発展にもつながる。（金子）

不採択
賛成7:反対7

可否同数で議長裁決

我が国の領海・排他的水域での安全な漁業活動の実現を求める意見書提出についての請願

請願者 日本国議長崎・西そのぎ支部 山川洋一・井上弘豊

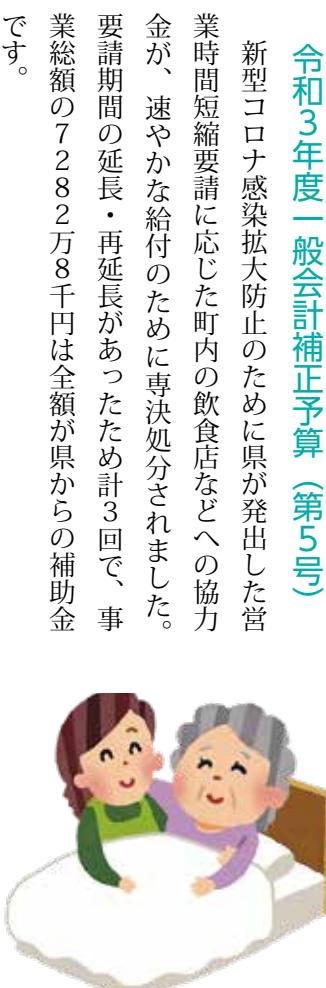
中国漁船の違法操業の増加を背景に、日本の周辺海域での日本の漁業者の安全確保を国に要望する意見書の提出を求める請願の採決が行われました。賛否同数であったため地方自治法第116条1項により議長裁決となり、議長が不採択としました。

反対討論

漁業の安全は重要だが本請願が国に求める中

国への抗議や海上警備強化は既に十分行われている。（八木）

排他的経済水域の問題は国が外交問題として取り組んでおり、本町の公益に直接関連がない。（竹中）



令和3年第4回臨時会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第39号	長与小学校体育館改修工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第40号	都市計画道路西高田線整備計画に伴う高田踏切拡幅工事の施行協定の締結について	可決（全会一致）
第41号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）

令和3年第3回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
請願第1号	我が国の領海・排他的水域での安全な漁業活動の実現を求める意見書提出についての請願	不採択
第42号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第43号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第44号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第45号	押印及び署名の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	可決（全会一致）
第46号	長与町開発行為に関する条例	可決（全会一致）
第47号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第6号）	可決（全会一致）
第48号	令和3年度長与町駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第49号	令和3年度長与町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第50号	令和3年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第51号	令和3年度長与町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第52号	令和3年度長与町水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第53号	令和3年度長与町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第54号	令和2年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
第55号	令和2年度長与町駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第56号	令和2年度長与町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第57号	令和2年度長与町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第58号	令和2年度長与町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
第59号	令和2年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
第60号	令和2年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定（全会一致）
第61号	令和2年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について	可決・認定（全会一致）
第62号	町道路線の認定について	可決（全会一致）
第63号	長与町教育委員会委員の任命について	同意（全会一致）
第64号	人権擁護委員の推薦について	適任（全会一致）
第65号	令和3年度長与町一般会計補正予算（第7号）	可決（全会一致）
発委3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決（全会一致）

賛否が分かれた議案（○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席） 議長は原則採決に加わらないため※で表示

議案番号	八木亮三	松林敏	西田健	浦川圭一	中村美穂	安部都	内村博法	安藤克彦	金子恵	岩永政則	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	西岡克之	山口憲一郎	審議結果
請願第1号	▼	○	▼	○	▼	—	▼	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	不採択
第54号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※	認定
第56号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※	認定
第57号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※	認定
第59号	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	※	認定

■棄権：議員自らの意思により表決に参加しないこと。 ◆除斥：議員は自らに利害関係のある事件の議事に参与することができないこと。

11人が問う

一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。

会議の中継・配信

本会議の模様を、YouTubeでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ 一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。

9 内村博法議員	① 医療的ケア児への支援について ② ヤングケアラーへの支援について ③ 長与町第3次地域福祉計画の策定について
10 八木亮三議員	① 高齢者が楽しく、健康に、安心して暮らせる町づくりについて ② 人口維持のための移住・定住政策について
11 吉岡清彦議員	① 健康宣言後の新たな事業の取り組みと、住民の意識向上について ② 盛土や、造成の対策について ③ 危険なバス停対策について
12 岩永政則議員	① 民間企業との包括連携協定について ② 植林土地区画整理事業等について
13 松林敏議員	① 本町の公共施設老朽化と更新計画について ② 粗大ごみ拠点回収の廃止について
14 西岡克之議員	① 環境問題について ② 所有者不明土地の取り扱いについて
15 中村美穂議員	① 町職員の職場環境、働き方について ② 子ども会の現状について
16 西田健議員	① 支援・援助を必要とする方々への行政の関わりについて ② 町の防災計画について
17 堤理志議員	① 植栽整備、景観の向上について
18 安藤克彦議員	① 本町における墓地の在り方について ② 学校給食費公会計化の進捗状況について ③ 町立小中学校特別教室のエアコン設置について
19 河野龍二議員	① イノシシ対策について ② 私有地の災害復旧支援について



うちむら ひろのり
内村 博法 議員

医療的ケア児の実態は

回答 9人把握している



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



■ 町長 現在、把握している医療的ケア児は9人で、その実態はどのようになっているか。

呼吸器装着などの医療行為が日常的に必要な医療的行為がア児支援法が6月に成立した。大変厳しい生活環境に置かれている医療的ケア児については実態把握と支援を急ぐ必要がある。医療的ケア児は厚生労働省の推計による全国に約2万人いるとされるが、本町の医療的ケア児の実態はどのようになっているか。

■ 議員 障害や病気のある家族の介護や世話をしている18歳未満の子どもを指すヤングケアラーについては、医療的ケア児と同様に大変厳しい生活環境に置かれており、実態把握と支援を急ぐ必要がある。本町のヤングケアラーの実態はどのようになっているか。

問 ヤングケアラーの実態は

答 5人と推察している

■ 議員 本町の支援体制はどうになっているか。

■ 課長 地域自立支援協議会のこども部会で協議している。

■ 議員 医療的ケア児の保護者には特別児童扶養手当を支給しているのか。

■ こども政策課長 9人のうち8人が支給を受けている。1人は支給基準に該当しないため支給を受けていない。

■ 議員 社会福祉法に基づく本町の地域福祉計画については平成28年度から6年間の計画である第2次地域福祉計画が今年度で終了し、来年度から第3次地域福祉計画がスタートする。第3次地域福祉計画の策定に向けた日程はどうのようになっているか。

■ 町長 地域福祉計画推進委員会で審議し、来年1月にパブリックコメントを実施の上、3月の策定を予定している。

■ 議員 第3次地域福祉計画の作成日程は

答 来年3月に策定予定

■ 町長 5人を可能性がある児童・生徒として推察している。

■ 議員 ヤングケアラーに対する本町の取組はどのような体制で行っているか。

■ こども政策課長 要保護児童対策地域協議会で対応する。



再犯防止は、安全で安心な社会の実現に向けた取組です
(法務省ホームページより)

の中に再犯防止や自殺防止対策などを導入している。特に再犯防止については再犯防止推進法に基づき、各自治体は再犯防止推進計画を定める努力義務があり、県は今年3月に計画を作成している。本町でも県や他自治体を参考にして導入を検討してはどうか。

■ 町長 国および県の再犯防止推進計画を勘案し、第3次地域福祉計画に盛り込むことにしている。



ハ木 亮三 議員

町なかに高齢者のためのベンチを

回答 要望が増えたら対応していく



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



ベンチで休める 高齢者にやさしい町に

■議員 高齢者が安心して外出できる環境づくりの一環として町なかにベンチを設置する自治体が増えているが、本町で行う考えはないか。

■町長 高齢者以外も休憩できてよいと思うが設置場所や管理などの問題がある。今後、要望が多くあれば対応したい。

■町長 運行条件や費用など、他自治体を参考に研究していく。

■議員 現在、高齢者へ年間1500円分のバス・タクシー利用助成があるが、同額分のガソリン券の方が有用だという声がある。助成内容の追加・変更はできないか。

■町長 運行条件や費用など、他自治体を参考に研究していく。

■町長 高齢者の自動車運転を推奨することになるという点から難しい。

■議員 金額の少なさも理由にある。国の保険者機能強化推進交付金を活用してもう少し増額できなか。

■介護保険課長 交付金の活用については、他県も含めた他自治体の活用状況を参考に今後検討したい。

■町長 これまでも様々な施策や事業を取りまとめたまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し進めてきた。今後も各種戦略プロジェクトを総合的に推進していく。

■議員 1500円という交通費助成の方がよいという声には、1500円という交通費助成の方が多い。

■町長 これまでも様々な施策や事業を取りまとめたまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し進めてきた。今後も各種戦略プロジェクトを総合的に推進していく。

■議員 人口の維持・増加にどう取り組む

■政策企画課長 調査結果を分析し事業を検討する

■議員 人口が4万2千人となつていい。基本構想では10年後の目標

■政策企画課長 数値目標は定めていないが、地域情報化の推進は基本構想にも掲げており取組を進めていく。

■政策企画課長 現実的には人口維持・増加は難しいと思うが、諦めず行政も議会も目標に向かって考えていくべきだと思う。今の本町は何から取り組むべきと考えるか。

■議員 若者を含む住民や移住希望者のアンケートの結果から、移住相談会や子育て世代移住支援金などを実施している。今後もアンケート結果の分析を基に具体的な事業の検討をしていきたい。



よしおか
吉岡 きよひこ
清彦 議員

神社のウォーキングマップ作成を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 更新する際に記載を検討する

■ 議員 2019年（平成31年）2月に長与町健康のまち宣言が行われた。その後、新たな事業にどう取り組んできたか。またその効果はどうか。

■ 町長 この宣言を機に既存の事業のさらなる充実を図つてきた。具体的には、平成30年度から開始した健康ポイント事業の増員や、健康相談の拡充、特定健診の委託医療機関の拡大、保健指導事業の人員の充実などに取り組んできた。健康ポイント事業は、平成30年度800人、31年度700人、令和2年度500人、令和3年度は8月末現在約300人と、累計2300人の参加があった。

■ 議員 住民の健康への意識がどう変わったか。

■ 町長 健康のまち宣言の主要な事業に位置付けている健康ポイント事業の参加者アンケートでは、「健康イベントに参加するようになった」「家族や知人と健康について話すことが増えた」との回答

馬三薬戸摩天八岩恵白堂
頭体師隠利満幡淵比鶴崎観
神さん神支宮さん神寿さん
音社ん社尊

長与神社巡り

健康増進と歴史認識を
神社巡りウォーキングで！

が多くの、一定の健康意識向上の効果はあつたと判断している。

神社巡りマップを

■ 議員 盛土や造成の対策はどうか

■ 答 県や関係機関と協力し対応する

■ 町長 热海市で盛土が原因で事件、事故が発生した。本町ではどのような状況なのか。また、どのような対策を取っているのか。

■ 町長 7月3日に発生した熱海市における土石流災害を受け、長崎県では緊急点検を実施した。対象は、県内の大規模盛土造成地のうち土地で目視にて変状の有無を確認している。本町においては3カ所が該当していたが、異常はなかつた。今後も県や関係機関と協力しながら対応していく。



バス停と横断歩道を離し、安全を確保しました（岡郷 総合公園バス停）

■ 議員 災害時の死者・行方不明者の氏名等公表に係るガイドラインが策定された。原則として公表するようになっている。

■ 議員 热海市で盛土が原因で事件、事故が発生した。本町ではどのような状況なのか。また、どのような対策を取っているのか。

■ 町長 7月3日に発生した熱海市における土石流災害を受け、長崎県では緊急点検を実施した。対象は、県内の大規模盛土造成地のうち土地で目視にて変状の有無を確認している。本町においては3カ所が該当していたが、異常はなかつた。今後も県や関係機関と協力しながら対応していく。

■ 議員 国土交通省の調査で「危険なバス停 全国1万強」との記事が出ていたが、本町の状況はどうか。

■ 町長 3カ所あつたが、安全確保対策を講じている。



いわなが まさのり
岩永 政則 議員

包括連携協定の効果は

回答 町民の安心安全に寄与



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 民間企業との包括連携協定が近年各自治体で結ばれている。この連携協定は、環境・福祉・防災・町づくりなど、自治体と民間企業が双方のノウハウを生かし、課題解決に向けて連携していくものである。本町における連携協定はどうか。

■町長 本町における包括連携協定は、日本郵便株式会社との1件である。この協定は協働による活動を通して、地域の活性化および町民サービスの向上を図るものである。連携の事項は、①安心・安全な暮らしの実現②地域経済活性化③未来を担う子ども④育成④福祉と健康のまちづくりとなっている。

■議員 この協定は町民のための行政執行の一つの手段である。町民への周知はどうしているのか。

■町長 町民に対する広報誌にて知らせており、議員 包括連携協定の効果はどうか。

な暮らしの実現や、地域福祉の向上に大きく寄与しているものと考えている。

■議員 今後どのような包括協定を想定しているのか。

■町長 それぞれが持つ経営資源を活用し合うことで課題の解決やまちづくりの一助となるような提案があれば、協定の締結を検討する。

■議員 椿林区画整理事業の町負担は

■町長 町の負担額はない。

■議員 高田郷の椿林土地区画整理事業は、数十年前から有効な土地利用が求められてきた。現在、組合による事業が進められていることは大変喜ばしい限りである。区域内の道路や上下水道などの計画はどうなっているのか。

■町長 道路・上下水道施設はそれぞれ整備されると聞いており、議員 町負担の概算額はどのようになっているか。



椿林区画整理事業地内にゴミ
誰が捨てたのか
市のコンポストからとのこと？

■町長 町の負担額はない。

■議員 この区画整理事業地内に廃棄物がある。廃棄物はプラごみ、木材などで、旧長崎市営のコンポスト施設のものではないかとの説明があつた。廃棄物のある面積・量はいくらか。

■町長 組合から報告を受けていない。

■議員 この廃棄物を除去する。

■町長 組合が長崎市と協議するものと考えている。

■議員 廃棄物は長崎市の責任と判断するべきではないのか。

■町長 組合が長崎市と協議するものと考えている。

■議員 事業は現在着手されており、廃棄物については適正な処理、処分を行うよう検討すると聞いている。

■町長 廃棄物は長崎市の責任と判断するべきではないのか。

■議員 事業が着手できないのか。



公共施設の更新検討を早めよ



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 適切な時期に検討を進めていく

まつばやし さとし
松林 敏 議員



安全管理はしっかりと (高田小学校体育館)

- 政策企画課長 ふれあいセンターの整備計画は、適切な時期に検討を進めていく。
■ 議員 公共施設の目標使
用年数を65年とし、学校施設の目標は80年となつて
いる。

■ 教育次長 町内小中学校
の構造躯体の健全性の評価も
考慮して長寿命化の判定をし
年程度で更新されたことを考
えると、80年使用するために
は維持費も相当にかかると考
えるがどうか。

粗大ごみ拠点収集
廃止の周知は
広報紙や説明会
などで周知する

■町長 広報紙、回覧板、ホームページ、SNSの活用、また、自治会や各種団体などへの説明会の開催を考えてい
る。

粗大ごみ収集(無料)は、
令和3年度をもって**終了**します。

今後は以下の方法(有料)により廃棄できます。

- ① クリーンパーク長与への直接搬入
 - ② 粗大ごみ戸別有料収集事業の活用
 - ③ 一般廃棄物処理業許可業者の利用

業者への利用

周知の徹底を望む

対応は初動が重要と考えており、早急な現場の確認、保健所・警察関係機関と共に対応している。今後も地域連携と共に、関係機関と綿密な連携をもつて対策を進めていく。

■ 教育総務課長 耐震診断
の中で柱の圧縮強度の検査を
実施し、その結果を基に耐震
補強工事を行つており、今の
基準に適合している。

■住民環境課長 無料とい
うのは難しい。

無料券の配布は



どう取り組む 二酸化炭素排出削減

回答 ごみ削減などで取り組む



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 近年、地球温暖化による著しい気候変動が頻繁に起きており、本年8月の豪雨で本町でも崖崩れが数ヵ所起きた。また、本県でも同じように豪雨で崖崩れが発生し、尊い命が犠牲になつた。他にも家屋などの浸水被害が多発しているようである。これらの異常気象の原因の一つが、二酸化炭素の排出による温暖化現象と言われており、いかにして二酸化炭素を削減していくかが温暖化をくい止める一つの指標となる。国も首相が2050年に温室効果ガスの排出を実質ゼロにするというゼロエミッション宣言をした。本町は行政としてどのような施策を実施するのか。また、私たち住民はどのような努力をすればいいか尋ねる。

■町長 現在行っているごみ分別、資源回収、クール・ウォームビズが温室効果ガス削減の一つの方策である。今後、過去の温室効果ガス排出量の算定を行い、削減目標設

定や再生可能エネルギーの活用を検討し、協議を重ね、令和4年度末の計画策定を予定している。

■議員 ごみ減量化についてはどうか。

■町長 来年度から実施する紙類のステーション回収と粗大ごみの収集方法変更が減量化へつながると考える。

■議員 クリーンパーク長との二酸化炭素排出量と今後の削減目標はどうか。

■町長 現在排出量の算定や削減目標の設定は行っていない。今後、協議を重ねていく。

問 所有者不明土地
答 対策は 国の動きを見ながら
対応する

■議員 2040年には、国内の所有者不明土地の面積を合計すると北海道と同程度になるとの予測もある。また、公共事業を行うときに用地取得が進まず、円滑な事業の遂行ができなくなり、労力と時

間を費やすことにもなりかねない。本町の現状と、どのような対策をしているのかを尋ねる。

■町長 本町では町内全域で地籍調査を終えており、相続未登記により公共事業に影響を及ぼすようなことはないと考える。固定資産税課税に関しては、所有者の死亡が判

明した場合、相続人調査を行い、使用者、所有者を探索し、関係法令により的確な課税客体の把握に努めている。

■議員 高田南土地区画整理事業区域内には該当案件はないか。

■都市計画課長 現在、意向確認をしているので、今のところはない。

放置すると国土整備を阻害 発生予防と適正利用が急務



どうする？年々増える所有者不明土地
(出典 公明新聞)



なかむら
中村
みほ
美穂 議員

職員のテレワークは

回答 6月より本格運用



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 現在の職員数は何人か。

■町長 233人である。

■議員 職員定数を見直す

考えはあるか。

■町長 定年延長制度の導入に向けた準備を進めており、職員定数を見定めている段階である。

■議員 時間外勤務の状況はどのようになっているか。

■町長 過去5年間を比較すると減少傾向にあつたが、新型コロナウイルス感染症の影響により新規事業が増えたため令和2年度は増えている。

■議員 遅い時間に役場の電気が点いているのを見ると、帰れない職員がいるのを心配するが、現状の把握や改善に向けての取組はしているのか。

■議員 職員のテレワークを平準化を各所管課と確認し、ノーカンガムデーやテレワークの推進で長時間労働の是正を図っている。

は進んでいるのか。

■町長 4月下旬より試験運用を行い、6月より本格運用を開始した。利用延べ人数は95人で、全庁的に浸透しているものと考えている。

■議員 警報が発令された場合の職員の他部局との連携についてはどうなっているか。

■町長 災害警戒本部を設置し、避難所については今年度より部局単位での運営を行っている。

■議員 住民に対してホテルのコンシェルジュの様な対応をしてもらいたいが、心に余裕がないと対応できないのではないか。

■町長 激甚化した災害対応について、各部課が横断的に対応していくことが原点だと思っている。

■議員 子ども会の意義

■答 学校でできない貴重な体験

■議員 現在の子ども会の数、加入者数は何人か。

■教育長 子ども会の数は24自治会で、加入者数は800人である。

■議員 減少している要因はどのように考えるか。

■教育長 子ども会の役員となる親の負担と、家庭環境の変化、加入したいが居住地の自治会に子ども会が無い、または休会しているということも要因と考えている。

■議員 加入促進の取組として地区混合子ども会とはどのようなものか。

■課長 子ども会が無くて加入できなかつた子ども達を対象に、自治会の枠を越えた会を作ることを検討している。

■議員 町は子ども会の意義、役割をどのように考えるか。

■生涯学習課長 学校ではできない貴重な体験、年齢の違った仲間と一緒に遊んで学びあう場を提供することで、親同士のつながり、自治会の活性化など重要なものと考える。



子ども会は楽しいよ
みんなで加入しませんか



にしだ たけし
西田 健 議員

高齢者へのサポート体制の充実を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 連携体制の強化をより一層進める

■ 政策企画課長 現段階で
は二一ヶ年が高まるには時間が
かかると判断するが、今後も
他の自治体の調査などを実施
し、幅広く検討を重ねていく。
か。
しかし将来を見据え、アン
ケートなどにより住民の二一
ヶ年を把握し利用促進に向けた
取組を検討すべきではない
か。

今後、地域共生社会を築いていく上で、人と人との繋がりを大前提に、身近な支え合いを充実させ、情報を共有し支援につなげるよう検討していく。

■議員 今後の高齢化社会を見据え10年・20年後のサポート体制の仕組づくりを検討して欲しいがどうか。



将来を見据えたサポート体制の仕組みづくりを (高齢者学級 長与町公民館)

■ 町長 高齢者向けとして
らくらくスマート体験教室や、
様々なアプリ、SNS、キヤツ
シユレス決済などの使い方に
ついて講座を実施しており、
データ情報に関われるような
環境づくりに取り組んでい
る。

議員 高齢者はスマートフォンなどの使い方が分からず電子的な行政サービスが受け

公平な情報提供を



防災ハザードマップの有効活用を

- **議員 防災ハザードマップの周知方法と有効活用について**
個別計画の作成状況とサポート体制はどのようになっているか。
- **町長 個別計画は全体の51%、326人分を作成済みである。避難サポート体制については、個別計画を自治会や自主防災組織、民生委員、社会福祉協議会を中心を作成しており、支援担当者として地域住民の協力をお願いしている。**

答 個別計画を作成し
支援者へ配布

避難要支援者の 同

■ **町長**　自治会世帯への配布と公共施設への配置により、危険箇所や避難情報の周知を図った。また、転入者へも窓口で配布した。さらに、ウェブ版をホームページに掲載しており、スマートフォンなどの位置情報を基に危険箇所や最寄りの避難所を確認することが可能となっている。有効活用の点では、各種団体が実施する防災訓練や講習会などの機会を捉えて、ハザードマップを活用した訓練を実施している。今後も効果的な周知方法、有効活用を模索し、町の防災力向上に向けて取り組んでいく。



堤 理志 議員

植栽の美観向上の工夫を

回答 適切な管理に努める



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



街路樹を整えて美しい町並みを
(写真は他自治体)

■ 議員 本町の植栽や街路にもチャドクガが発生する樹種がある。チャドクガが確認された際は、早急に駆除し適切に対応している。

■ 町長 10月に剪定をする。長崎市の緑地でチャドクガの幼虫（毛虫）が大量発生し新聞記事になつた。チャドクガは主にツバキやサンカの葉に発生し、人が毒針毛に触ると強い皮膚炎をひき起こす。本町の対応はどうか。

■ 町長 街路樹を剪定する時期があるが、その時にひこばえなどを対処している。

■ 議員 岡崎町営住宅の植栽も長期間剪定、整備がされておらず荒れている。早く対処する考えはないか。

■ 町長 街路樹の胸吹き（※1）や、ひこばえ（※2）が伸長したままの状態になつているものが目につく。景観の向上と、歩行者の安全を考慮する意味でも対処してはどうか。

■ 町長 早急に対応したい。

■ 議員 樹種の特性や花の時期などを考慮した具体的な植栽管理計画はあるのか。

■ 町長 街路樹や低木は毎年計画的に剪定している。今後も状況に応じた適正な管理に努めていきたい。

いずれも国土交通省の「公園緑地工事共通仕様書」に「剪定すべき枝」として記載されている。このような不要枝を整理することで美しい樹形を保つとされている。

※1 胸吹き
幹の中ほどから伸びてくる枝
※2 ひこばえ
地際から新たに出てくる枝



あんどう
安藤
かつひこ
克彦 議員

町営の合祀墓への考えは

回答 研究していく必要があると考える



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



子孫への負担を減らしたいのが親心

は、墓地所有者の高齢化が進み、多くが急傾斜の位置にあることから管理への支障を心配する声を聞くことがある。また、少子高齢化などを背景に、残された遺族が墓や遺骨の管理に困り墓じまいを行い、遺骨を合祀墓などに移す例が増えている。これらに関しては、社会の環境変化や高齢者の間での経済格差が埋葬にまで影響していると言われている。墓地に関する相談や苦情の状況はどうか。

■ 町長 管理ができないなどの理由で墓の移動や縮小を在り方について研究していく必要があると考える。

■ 議員 地域の共同墓地で相談が多い。また、共同墓地で管理組合が存在しない、活動していない墓地も多くあります、管理が行えていないことによる相談もある。

■ 町長 昨今の少子高齢化の社会情勢を反映し、特定の墓地墓石を持たない形態も増加しており、墓に対する意識が多様化している。今後は時代のニーズに対応する墓地の公会計への移行を求めてきた。令和元年7月に国が学校給食費が私会計で処理されていることによる問題点を指摘し、公会計への移行を求めてきた。令和元年7月に国が学校給食費徴収・管理に関するガイドラインを示したことにより、本町も令和5年度開始に向けて動き出したものと理解している。進捗状況はどうか。

■ 議員 遅れはないのか。
■ 教育長 全国的なシステムの多忙により導入に遅れが出ている自治体があると聞いている。各所管と協議を行なながら、令和5年度の導入を目指して進めていく。

■ 議員 遅れはないのか。
■ 教育長 特別教室の工アコ

ン設置については、快適な環境を提供するための必要性は十分理解している。特別教室の中でも優先度が高い教室から、他の改修等と調整しながら順次検討していく。

目的とした墓じまいに関する相談が多い。また、共同墓地で管理組合が存在しない、活動していない墓地も多くあります、管理が行えていないことによる相談もある。

■ 議員 私は平成24年の3月議会以来、本町の学校給食費が私会計で処理されていることによる問題点を指摘し、公会計への移行を求めてきた。令和元年7月に国が学校給食費徴収・管理に関するガイドラインを示したことにより、本町も令和5年度開始に向けて動き出したものと理解している。進捗状況はどうか。

■ 議員 令和元年度に町立学校全ての普通教室にエアコンが設置されたが、特別教室には未設置の所が多い。「暑い時期は可能な授業についてはエアコンの効く普通教室で対応しているが、音楽や理科の実験などは特別教室で実施せざるを得ない」と教員から聞いた。特別教室の意味を考え、有効に活用していくためにはエアコンの設置は急務と考える。特別教室のエアコン設置についての考え方と今後の見通しについて尋ねる。

■ 議員 給食費公会計化に遅れはないか
■ 町長 令和5年度を目標して進めていく

■ 議員 特別教室にエアコン設置を順次検討していきたい
■ 町長 給食費公会計化に遅れはないか
■ 町長 令和5年度を目標して進めていく



かわの 河野 龍二 議員

イノシシの住宅街侵入を防げ

回答 緩衝帯を設置し すみ分けを図る



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



イノシシで葡萄が全滅（高田郷）

■議員 イノシシにより収穫間近の果実が被害を受けるなどの相談を受けた。被害を受けた場所が住宅地に近く、いずれ家屋や人に対しても被害が及ぶことが危惧される。農業従事者以外にもワイヤーメッシュなどの支援ができるのか。

■町長 住宅地でのイノシシ目撃情報も寄せられる。生活環境被害に対する防護柵設置助成について、他の自治体の事例を参考に研究したい。

■議員 住宅地でのイノシシ目撃情報はどれくらいあるのか。

■議員 住宅地への侵入を防ぐ方法はどう考えているのか。

■課長 長崎市では、地域で防護柵を設置し、生活環境被害を防止する活動を行っている。本町でもできないのか。

のか。

■産業振興課長 平成30年度が7件、令和元年度が11件、2年度は19件報告がある。

■課長 長崎市では、自治会などでワイヤーメッシュ設置の対応をしている。本町で取り組む場合、設置後の管理などの課題もあるので、研究を重ねている。

■町長 耕作放棄地の解消や山林と住宅地との間に緩衝帯を設置するなどして、イノシシとのすみ分けを図っている。

■町長 耕作放棄地の解消や山林と住宅地との間に緩衝

シ目撃情報はどれくらいあるのか。

■議員 8月の豪雨被害で本町でも土砂崩落が発生した。私有地の場合、災害復旧事業の条件に該当しなければ所有者の責任において対応しなければならない。宅地の崖崩れに対し一部助成制度がある自治体もあるが、本町は導

入の考えはないか。

■町長 個人所有の土地は所有者の責任が原則だが、他市町の制度を研究したい。

■議員 長崎市の制度は、崩壊した崖の早期復旧と、崩壊をする前の崖に対しても、2000万円を上限に、事業費の3分の1を助成している。昨年57件の申請があつた。本町のように危険箇所が多い自治体は導入すべきと思う。再度導入の考えを問う。

■総務部長 10年に一度、50年に一度といわれる豪雨が毎年のように起きている。急傾斜地対策事業とのすみ分けを考え検討していくたい。



豪雨での土砂災害復旧を急いで
(高田郷 8月13日撮影)

■議員 他市町の制度を参考に研究したい

■議員 8月の豪雨被害で本町でも土砂崩落が発生した。私有地の場合、災害復旧事業の条件に該当しなければ所有者の責任において対応しなければならない。宅地の崖崩れに対し一部助成制度がある自治体もあるが、本町は導

入の考えはないか。

■町長 個人所有の土地は所有者の責任が原則だが、他市町の制度を研究したい。

■議員 長崎市の制度は、崩壊した崖の早期復旧と、崩壊をする前の崖に対しても、2000万円を上限に、事業費の3分の1を助成している。昨年57件の申請があつた。本町のように危険箇所が多い自治体は導入すべきと思う。再度導入の考えを問う。

■総務部長 10年に一度、50年に一度といわれる豪雨が毎年のように起きている。急傾斜地対策事業とのすみ分けを考え検討していくたい。

次の定例会は **12月7日(火)** 開会の予定です。

議会報告会を YouTube で配信します。
感染予防のため対面式の報告会は実施しません。

議長交際費	寸志・慶祝など	5,000円(1件)
(令和3年7月1日～9月30日)	その他	0円(0件)
	支出合計	5,000円(1件)



撮影者：清水綾華さん (Sun-Films ぱしゃ。)
タイトル：紅葉色を歩く

光に照らされて紅葉のような色になった橋を撮影しました。木陰を通ってゆく風が涼しく、秋の訪れを感じられます。

表紙の写真

「巣ごもり需要」が二エードスを賑わせている。コロナ禍で外出を控える中、生活スタイルの変化で需要が増えたことを指すようだ。▼町は今議会の決算審査で、これまで減少傾向だった水道事業が前年度比增收増益に転じたことを報告した。これも巣ごもり需要が一因らしい。▼年々減少する人口と節水、家電の普及で減り続けた水需要だが、水道局は受給のバランスを見極め、水源を確保し、必要な時に必要なだけ供給しなければならない。▼町は更なる経営の効率化や施設の老朽化に対応するため、浄水場の共同整備を長崎市と目指す。安全・安定・安価供給のためにも、事業の進捗を期待したい。(安藤克彦)

編集後記

委 員 長
副 委 員 長
委 員 長
竹 安 藤 内 村 中 村 西 田 松 林 安 部 八 木
中 悟 克 彦 博 法 美 穗 健 敏 都 亮 三

議会広報広聴 常任委員会



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCペジタブルインキで印刷されています。